

# 鳥取 家族会だより

【発行者】鳥取県精神障害者家族会連合会

【事務局】〒680-0901 鳥取市江津318-1

鳥取県立精神保健福祉センター内

Tel 0857-21-3031

Fax 0857-21-3034

## 就任ご挨拶

鳥取県精神障害者家族会連合会  
会長 田淵 眞司

この度、はからずも鳥取県家連の会長に就任致しました田淵眞司でございます。

このような大役を仰せつかるには誠に微力でございますが、理事各位並びに会員の皆様のご助言ご協力を仰ぎ、職務に邁進してゆく決意でございます。

どうぞよろしくお願い致します。

さて、会長就任にあたり、一言抱負を申し上げたいと思います。

鳥取県家連の現状は、前会長を中心とした活動の中で大きな成果も上がっていますが、まだまだ多くの諸課題があると思っています。今後の活動を皆様方と共有して問題解決へ向かって前進致したく思い、ご提案を致します。

### ①家族会組織の現状の掌握と未加入組織への働きかけを致しましょう。

会員減少と会員の高齢化が加速しています。時間を掛けて意見を拝聴して組織の未来を展望しましょう。

### ②他障がいと比べて課題が多く、あらゆる制度並びに施策などの充実に頑張ります。

例えば、現在JR等交通運賃割引制度が精神障がい者のみ適用されていません。如何なる理由があろうとも、障害者差別解消法を踏まえた合理的配慮の観点からみても公平性に欠けています。

この件のみならず、全国的な活動で要望を実現させましょう。

### ③広報活動を通じて情報収集に努力し、魅力ある発信をして今以上に信頼獲得を目指しましょう。

改めて皆様のご指導ご協力を切にお願い致し、就任の挨拶とさせていただきます。

5月17日に開催を予定しておりました今年度の定期総会は、鳥取県内での急激な新型コロナウイルス感染拡大のため、急ぎよ書面決議に変更となりました。

#### 令和3年度総会 書面決議結果

すべての議案は6月1日付で可決されました。

- ・第1号議案 令和2年度事業報告  
及び決算並びに監査報告について
- ・第2号議案 令和3年度事業計画  
及び予算(案)について
- ・第3号議案 役員改選について

#### 鳥取県精神障害者家族会連合会 新役員名簿(任期2年)

役職	氏名	所属家族会
会長	田淵眞司	鳥取南部ひかる会
副会長	西村公雄	八頭ひかる会
	中本昌年	中部家族会
	安達賢	精神障害者家族会すけっと
会計	市谷貴志子	鳥取市精神障がい者家族会
	濱崎智熙	岩美町精神障がい者家族会
理事	遠藤倭文子	中部家族会
	町田貴子	中部家族会
	相見槻子	倉吉市精神障がい者家族会
	山根和江	倉吉市精神障がい者家族会
	来海英明	精神障害者家族会すけっと
監事	染川海男	中部家族会
	松本絹子	汐さいの会
顧問	幅田千富美	伯耆町精神障がい者家族会

# 退任ご挨拶

濱崎智熙

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度令和3年6月1日をもちまして、鳥取県家連会長を退任致すことになりました。平成18年の就任以来御厚情御指導を賜り、お蔭様で大過なく任期を全うしたことを深謝申し上げます。このように職責を全うできましたことは、各関係機関の皆さま方、また家族会及び当事者の方々の御理解、御協力、御指導の賜物と感謝申し上げる次第です。まだまだ医療、就労支援の問題等山積しています。今後は一人の理事として、また家族の立場として頑張っていくと思っています。

なお、後任の田淵新会長も私同様御厚情、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

短い文章で意を尽くしませんが、永年の格別なる御厚情に感謝申し上げ、退任の御挨拶とさせていただきます。

## 要望活動報告

鳥取県西部の家族会で進めている米子市、境港市における市独自の障がい者に係る医療費助成制度実現への働きかけについて、経過報告をいたします。

以前お知らせしたとおり、両市とも新たな医療助成制度の設立に向け動き出しております。境港市では3月の議会で新年度予算化され、制度の実現がなされました。運用は7月以降とのことで細かいことはまたお知らせ出来ると思います。一方米子市は、4月に市長選挙があり3月の議会では新規の事業としての議論はなされませんでした、市の担当課長に伺ったところ、6月の補正予算での実現に向けて準備をしているとの話しを頂きました。米子市でも医療制度実現に向けて今後も働きかけていきます。また報告いたします。

報告者:精神障がい者家族会すけっと 安達賢

## 岩美町精神障がい者家族会すずらんの会 研修会報告

3月10日(水)、岩美ふれ愛センターでリフレッシュ&研修会を行いました。

前半は、Fitness Ja-んぐるの宮脇先生をお招きし“いすヨガ”を行いました。当日は天候に恵まれて、岩美ふれ愛センターの会場から窓の外の春めいてきた山の緑や草木の花々を眺めながら椅子を使ったヨガを教えてくださいました。座ってできるものはもちろん、立ち上がったたり座ったりする際にできるスクワットなど、日頃の生活に取り入れることができそうなヨガをしました。

また、ヨガの基本の呼吸についても実践してみました。日々感じているストレスや緊張などがほぐれやすくなり、力を抜く、リラックスをする体験をしました。

ヨガと聞いて、普段足腰や肩が痛いなど、自分には出来ないと言われていた方もありましたが、宮脇先生は自分の体調に合わせた無理の無いヨガを教えてください、時間が終わるころには皆さんの表情がとてもリラックスしていい笑顔となっていました。



後半は、テキストを使った研修をしました。統合失調症の基本から、安定した生活を続けるためのコツや調子が悪くなった時のために備えておくこと、福祉サービスの種類や利用方法、家族も元気に生活するコツ、本人からのメッセージ、薬による生活習慣などへの注意点など、駆け足でしたが一緒に学びました。

報告:岩美町すずらんの会事務局 松本千晴(岩美町役場福祉課保健師)

## 令和2年度精神障がい福祉研修会

映画上映会「夜明け前 ～呉秀三と無名の精神障害者の100年」

開催日:令和3年3月13日(土)

場所:倉吉未来中心

### 映画「夜明け前」から学んだ3点の問題提起

今から100年前、精神病に有効な治療法が無かった時代、「座敷牢」に幽閉された精神病者を救おうと奔走した一人の男がいた。その人こそ呉秀三氏です。

彼こそ、精神衛生関係者にとって神様のような存在であるといわれます。呉氏は東京大学医学部精神科医の教授として異例の社会的な取り組みを進めた先達です。呉氏は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込められている実情を愁い、座敷牢からの解放にむけて多方面へ働きかけられました。

呉氏が書き残している「我が国何十万の精神病者は、実にこの病を受けたる不幸の外、この国に生まれたる不幸を重ねるものというべし」「精神病者の救済・保護は実に人道問題にして、我が国目下の急務と言わざるを得ない」という言葉は、この作品にあるメッセージです。呉秀三氏の表現こそ古い言い回しですが、内容は斬新です。まるで預言者です。隔離・身体拘束にしる、呉氏が当時問題にしていたテーマや言動が、現代日本にして何ら色あせること無くそっくり通用するようです。

それから100年という月日を過ぎた現在、精神障がい者の問題は改善されているでしょうか？どうかしっかり現状を見てください、考えてください、と強く私たち一人一人に訴えておられるようです。

①心を病んだ人は、なぜ閉じ込められなければならないのか？

②精神の病とは？

③人間の尊厳とは？

おわりに、今も精神障がいのある人やその家族にとって「夜明け前」と言えます。どうか、明るい光が見いだされて「夜明け」が到来しますことを念じています。

報告:鳥取県家連副会長 中本昌年

### 参加者の声

よい映画を見せてもらいました。知らないで生きて来ました。現代、この先もコロナ、認知症、災害、その他、私達人間は心を寄せるよりも、偏見、バッシング…する芽をいつも持っているということでしょうか？そうであっても、病、その他を理解することで少しでもお互いに人として尊重できるよう努力したいと思います。  
(家族)

事実を報告のドキュメンタリーだったので、知らなかった精神障害者の扱われていた歴史がわかった。ただ、映画を拝見しただけで、驚かされる部分があった。会長さんの初めの挨拶で『昭和58年まで家庭監護があったのです。』が見終わって心に重く残りました。

(民生児童委員)

普段、支援者として精神障害をもつ方と接する日々を送っています。「人として見て欲しい」という言葉がありました。「精神障害」ということは理解できていても「障害を抱えた方の本当の心のうち」をもっと考えて本当にその方に寄り添った支援をしていきたい、縦走者となれる人になっていきたいと改めて考えさせられました。

(関係機関職員)

先人の呉秀三さんをはじめ、病気に対して向きあって来られたことを受けとめ、これからを進めていくことを考えました。

(家族)

## ★令和3年度の主な事業計画★

研修会 「精神障がい福祉研修会」の開催・「精神障がい関係者研修会」の開催  
精神障がい者家族相談事業 ・「精神障がい者家族相談ダイヤル」の実施(月2回)  
・「精神障がい者家族相談研修会」の実施(年4回)

要望活動 県及び各市町村への要望活動  
交通事業者等への運賃割引制度適用の要望

広報啓発活動 ・「鳥取家族会だより」の発行(年4回)  
・若者向け精神疾患早期発見啓発リーフレット、県家連広報リーフレットの配布

\*新型コロナウイルスの影響で実施や開催が変更される場合があります。

## お知らせ

### ☆賛助会員募集～鳥取県家連の活動をご支援ください～

平素は県家連の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。当会は、一般の方にも賛助会員としてご支援いただき活動の大きな力とさせていただいております。

つきましては、引き続き多くの方に賛助会員としてご入会いただき、当会の活動を支えていただきたくお願い申し上げます。賛助会員の方にはご希望により年に4回発行の本紙をお送りします。

入会申込書は鳥取県家連事務局にございます。  
申込みは随時受け付けておりますので、皆さまのご協力をよろしく  
お願いいたします。

**賛助会費(年会費)**

個人会員：一口500円



1人で悩まず  
お電話ください。

## 精神障がい者家族相談ダイヤル

相談専用ダイヤル

**090-3880-3498**

毎月第1・第3木曜日

13:00～16:00

★令和3年9月までの実施日★

7/1-15 8/5-19

9/2-16

- ・相談は無料です。(通話料は別途かかります。)
- ・秘密は固く守ります。
- ・相談は匿名でもお受けします。



### 次号に掲載する地域情報をお寄せください。

鳥取県内の各地域で開催する精神保健福祉に関する講演会・研修会・福祉イベントや、単位家族会・各事業所・作業所からのお知らせなどの情報をお寄せください。

なお、紙面に限りがございますので、お寄せいただいた情報がすべて掲載できない場合もあります。ご了承ください。詳しくは下記の鳥取県家連事務局までご連絡ください。

令和3年10月～12月開催の

講演会・研修会・福祉イベント...

皆さんからの情報をお待ちしています。



### 編集後記

梅雨も半ばですが、だんだんマスクが暑苦しくなってきました。今年の夏も暑そうですね。  
旅行とかレジャーを楽しむのもまだ気を遣いそうですが、もともとインドア派の私は、涼しい部屋で観光地や世界遺産の映像を見て充分満足出来ちゃいます。我ながら安上がりな人です(^^)  
さて、鳥取県家連も新体制になりました。今後ともよろしくお願い致します。 事務局 岡嶋

☆「鳥取家族会だより」に対するご意見ご要望や精神保健福祉の情報など下記までお寄せください。家族会に関するお問い合わせもどうぞお気軽に！

鳥取県精神障害者家族会連合会事務局

〒680-0901 鳥取市江津318-1

鳥取県立精神保健福祉センター内

Tel 0857-21-3031 Fax 0857-21-3034